

市内で見かけるさまざまな景色。 一人一人、お気に入りの景観があるは ず。鈴鹿市景観計画の改定にあたり 募集した「自分だけの1コマ」写真の 中から、写真展(3月初旬)に使用し た市内の景観写真を紹介します。

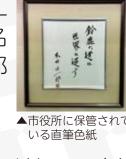




「鈴鹿の道は世界に通ず」一こう記され た色紙が市役所で大切に保

管されています。本田技研工 業の創業者にして、本市の名 誉市民でもある本田宗一郎 さんの言葉です。 本田さんは、鈴鹿サーキット ★市役所に保管されて いる直筆色紙

建設にあたり「自動車やバイクはレースをし



なければ良くならない」と語りました。極限の 戦いであるレースを通じてこそ高度な技術 が磨かれ、ひいては安全で快適な性能を備 えた、世界に通用する製品づくりに生かされ ていくという考えです。そんな思いが凝縮さ れた言葉こそ が「鈴鹿の道は

世界に通ず」で はないでしょう



も他人事ではない「認知症」。

今回の特集の制作にあたり、 認知症の方を支援するさまざ まな方を取材しました。 支援している方に共通してい たのが、おもいやりの心。「オレ

ンジカフェ」に参加するスタッフ の方の、「当事者だけでなく家 族にもゆっくりとした時間を過

ごしてほしい」という気持ちに、おもいや りを感じました。優しい声掛けに、当事者 の皆さんは笑顔を浮かべ、一緒に参加した

家族も、ほっとした表情でした。 認知症の方が暮らしやすい社会にする ためには、一部の人が支援するだけでなく、 一人一人ができることに取り組むことが大 事だと思います。 私も、認知症サポー ター養成講座を受講して、認知症への理 解を深め、おもいやる心を持って行動し ようと思います。(晴)